



思ひ出草

古いスクラップブックから

俺の村

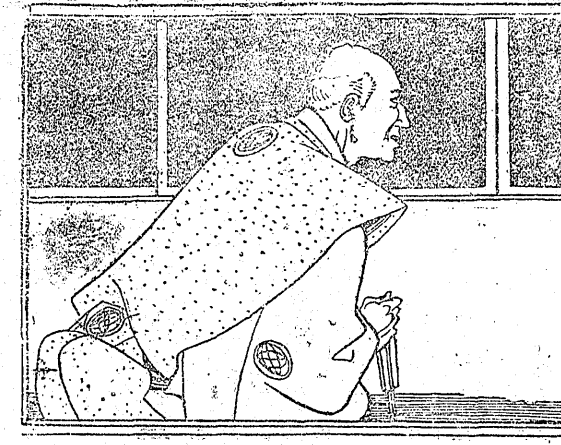
日本の巻

俺の村の巻
名前の通り俺の村は...

赤鞘安兵衛

村田月光齋

赤鞘安兵衛
左京太夫殿のお言葉は...



新聞記者たらんとす

早大新聞研究室生 齋藤昌武

新聞記者たらんとす
私は今自分の不知無能にも...

そばはこ
そばはこ
平町土橋マルマン商店

松村材業院
胃腸科
皮膚科

浪曲日本一の
吉田奈良丸師一行

タツタ一圓の
富士カメラ

吉田科眼病院
平町紺屋町

高久病院
内科 小児科

吉田科眼病院
平町紺屋町

高久病院
耳鼻咽喉科

鈴木醫一院
耳鼻咽喉科

月曜論壇

堂々たる戦へ

平町会への注文と云ふ

問題に對して答を與ふる前

第一の弱點は町議の各

反對意見を攻撃して克服

非役場派と見られてゐる

磐城地方開拓の先驅

淺野磐炭社長逝く

八十三歳の高齡で

昨日眠るが如く大往生す

去る六月二十六日ベルリン



三男八郎の諸氏を始め

女穂積栄仁、二女白石

夫人、三女鶴田夫人

女鈴木夫人や流澤子

安田善次郎氏、阪谷男

大川平三郎氏等

財界の巨頭がそれと枕

頭に乗せつけ即ち非常に

派手な生活を送られた

午後二時から芝の本町

執行する所定で告別式

了と共に鶴見總持寺へ

遺言により葬儀一切は

て質素にとり行ひ香奠

他の遺族は廢止する事

代診から事業へ

文字通り波瀾の生涯

年々コレラ流行の際

炭酸の原料コレラ菌

を販賣して大儲けをした

これ以後は炭酸の資金

事業に専念して、下地

を築き上げたのである

今更にはコレラ菌の

せむきにひくひく貧乏

に金を看板に十六年に

郵船の向ふを張つて共

運輸會社を創立、廿九

告別當日(十三日)

高坂で遙拜式

菅原所長其他幹部社員

及従業員代表廿名上京

社長淺野翁の計に接し

炭酸従業員は金山を

を一つづつ購得する

今更にはコレラ菌の

せむきにひくひく貧乏

に金を看板に十六年に

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

火災頻発のため

入院隨意(自然の便り) 外科 光線科 専門科 上田外科醫院 病室完備 電話一二二九

新マツダ瓦斯入 電球三割値下 電話一三七番

阿部石炭商店 電話一三七番

大谷時計病院 電話一九番

釜屋商店 電話九番

釜屋商店 電話九番